

# 静岡市ろうあ協会報

第001号

発行所 静岡市葵区城内町1-1  
静岡市中央福祉センター  
発行人 小泉 秀力  
編集人 森 匡之  
発行日 平成19年07月10日

## 第1回定期総会が開かれる

平成19年5月13日(日)午前9時から、静岡市役所清水庁舎ふれあいホールにて、第1回定期総会が開催されました。

定期総会の出席者は98名で、会則23条により成立。来賓として、静岡市役所・障害福祉課長、静岡市身体障害者団体連合会・会長、静岡市登録手話通訳者の会・代表、手話サークルするがの会・あおいの会・たつのこ会・波の子会・かえでハンズの各代表ら8名がご臨席されました。

議長に、伊藤雅彦さん(東部ブロック)を選出し、議事に入り、議案は全て承認されました。

午後の部では、「中越震災から学んだ聴覚障害者の教訓」をテーマに新潟県小千谷市ろうあ協会会長・若井裕介氏の講演が行われました。



写真:新潟県小千谷市ろうあ協会会長・若井裕介氏の講演

スクリーンを使いながら身振り手振りを交えての講演でしたが、これをきっかけに防災に対する意識が高まったと思います。

講演の出席者は89名、登録手話通訳者は15名、手話サークル会員は15名。

## 役員選出・役員体制変更

5月13日(日)の定期総会で、役員選挙規定の承認を得られました。

それを受けて欠員の生じている現在、6月2日(土)の拡大役員会で役員一同の承認を得て、1名の役員補充を行いました。

名前	新担当
小倉 健太郎	総務部

小倉は社団法人静岡県聴覚障害者協会の専従事務局員であり、これからの活躍が期待されます。また、役員を選出に伴い、役員体制を変更しました。

手話対策部はこれまでは3人で対応して来ましたが、様々な活動を求められてきているため、手話対策部を2担当に分け、手話通訳・手話養成(主に講習会)を担当する「手話養成担当」と、手話サークル・他団体との連携を担当する「手話普及担当」を設けました。

前担当	名前	新担当
青年部副部長	森 匡之	総務・会計部
女性部副部長	筑地 直美	手話養成担当
老壮年部副部長	高橋 稔	手話普及担当
総務・会計部付	丹澤 一利	体育部付

## 第2回ありんこの里をつくる会定期総会 & チャリティー音楽祭

4月28日(日)午後1時から、清水文化センター会議室にて、ありんこの会定期総会が開催されました。議事で、以下の平成19年度の活動方針案が承認されました。

1. 施設作りに向けて  
2009年の施設建設を目指し、運営理念のもと、具体的に計画を推し進める。
2. 交流  
ろう重複の中間との交流を深め、活動の輪を広げる。
3. 資金集め  
大きなイベントを行う。ろう協、通研等の行事とバザーをタイアップして計画を立てる。
4. 会員拡大  
活動の内容を周知させ、会員の拡大をはかる。



写真：チャリティー音楽祭のフィナーレ

総会終了後、清水文化センター中ホールにて「第2回ありんこの里をつくる会チャリティー音楽祭」が行われました。

出演者は、静岡市ろうあ協会女性部、デフダンサーの高木理叶さん、ガールヒップホップダンスのユニット「B-NE(ビーネ)」の3団体。

静岡市ろうあ協会女性部は、「おだっくい」他、の踊りを披露し、日頃の練習の成果を発揮しました。

また、高木理叶さん、B-NE(ビーネ)は、ダンスパフォーマンスと手話の歌を演じ、会場を魅了しました。

今回のイベントに400人を越える観衆が集まり、今後の活動の励みになったと思います。

今回の売り上げの収益は、ありんこの里を作る会に寄付されます。参加者の皆様にご協力頂き、ありがとうございました。

## 第57回静岡県ろうあ者大会

6月17日(日)に袋井市立中央・袋井南公民館にて、2年ぶりに静岡県ろうあ者大会が開催されました。(昨年度は第54回全国ろうあ者大会が静岡県で開催されたため、休会。)

午前の部は、評議員会が行われ、全ての議案が承認されました。

そして、午後の部は、「静岡県ろうあ者大会」が行われ、来賓に石川静岡県知事らのご臨席され、祝辞の冒頭で、石川静岡県知事が手話で自己紹介されました。

式典に続く大会宣言や大会決議などの後、全日本ろうあ連盟理事の小椋武夫氏をお迎えし、「アジアのろうあ者について」をテーマに講演させて頂きました。

アジア太平洋地域におけるろう者の現状について詳しくお話しされ、参加者の真剣に聞いている姿が多く見られました。

来年度は伊豆支部で開催されます。

## 静岡市ろうあ協会青年部学習会

6月19日(土)午後より、はとぴあ清水にて、静岡市ろうあ協会青年部学習会が行われ、16名の参加者が集まりました。

講師に「社団法人 静岡県聴覚障害者協会」会長の伊藤行夫氏をお迎えし、「ろうあ運動に関わる歴史」をテーマに講演していただきました。

講演内容は、ろうあ運動のきっかけとなった、「蛇の目」事件からろう重複作業所及び施設までと、奥の深いお話をさせて頂きました。

また、講演後は、企画の一つとして「平成ろう教育委員会試験」という講演内容を出題範囲とした確認試験が行われました。良い点を取った人がいれば、悪い点を取った人もいたり、と結果は人それぞれでしたが、参加者の方も大変勉強になったと思います。

学習会終了後は、「花の舞」にて、講師を囲む会が行われました。



写真: 伊藤行夫氏の講演



写真: 学習会の様子



写真: 講師を囲んで

## 第28回静岡県ろうあ青年研究討論会in磐田



写真: 1日目、宮本一郎氏の講演

6月30日(土)～7月1日(日)に袋井市立中央・袋井南公民館にて、第28回静岡県ろうあ青年研究討論会in磐田が開催されました。

1日目は、全日本ろうあ連盟理事の宮本一郎氏を講師にお迎えし、「アジアろう者との上手な付き合い方」をテーマに講演していただきました。まずは、世界にどんな手話があるのかの説明に始まり、最後は国際手話の実践で講演が盛り上がりました。

そして、夜は「お楽しみ企画・交流会」が行われました。

グループ対抗戦形式でしたが、仲間達で知識や知恵を出し合って答えを出す事で、仲間内での交流を深める事ができたのではないかと思います。

2日目は、入門講座、労働、国際の3つの分科会が行われました。

皆さんもそれぞれの分科会に参加していい刺激を受けたと思います。

## 手話奉仕員養成講座スタート

5月9日(水)から清水区(はーとぴあ清水)で手話奉仕員養成講座・入門課程が始まりました。実技講師は下記の通りです。

昼の部: 高橋稔、黒澤、筑地

夜の部: 森崎、小倉、杉山友、大村

今年から厚生労働省のカリキュラムに沿った指導内容で、実技講師1人につき受講生20~30人を受け持つなど、講師の質が問われる進め方となっており、講師には指導力はもちろん、様々な行事に参加し、世の中の動きを掴むなどの知識が要求されています。

そのため手話養成担当は講師研修会を開き、講師の質を高めるようにする予定です。

## 東海聴覚障害者体育大会

6月9日(土)~10日(日)、静岡県掛川市で東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」を中心として、第18回東海聴覚障害者体育大会が開かれました。

天候は落雷を伴う大雨というあいにくの空模様でしたが、各競技は以下の結果となりました。来年は三重県伊勢市で開催されます。

### <結果>

野球 1回戦 静岡1-5豊田(雨天のため、5回コールド)

卓球 男子ダブルス(伏見) 2回戦敗退

男子個人戦(伏見) 1回戦敗退

ボウリング 男子団体戦 Aチーム(福島・吉川)3位

女子団体戦 Aチーム(増田)2位

女子団体戦 Bチーム(久保田・福島)3位

男子個人戦(予選) 男子個人戦(決勝) 女子個人戦(予選) 女子個人戦(決勝)

吉川 20位 なし 増田 3位 増田 3位

柏木 25位 久保田 8位

福島 27位 福島 11位

### 原稿募集

団体の動き、話題、会員消息、問題提起など、どんどん原稿を出して下さい。

☆締切日 9月9日

☆投稿先

FAX 054-334-8766

Eメール gdeh\_tree3@yahoo.co.jp

機関紙担当 森 匡之

※次回発行(2号)は、10月9日の予定

### 編集後書き

新・静岡市ろうあ協会が発足してから初の機関紙発行となりました。初めてという事もあり、色々と手落ちがあるかもしれませんが、今後は会員の意見を反映させながら、「静岡市ろうあ協会の会員の機関紙」を目指していきたいと思ひます。

また、原稿等もお待ちしています。(連絡先は左枠参照。)

これからもよろしくお願い致します。

総務部員・機関紙担当 森 匡之